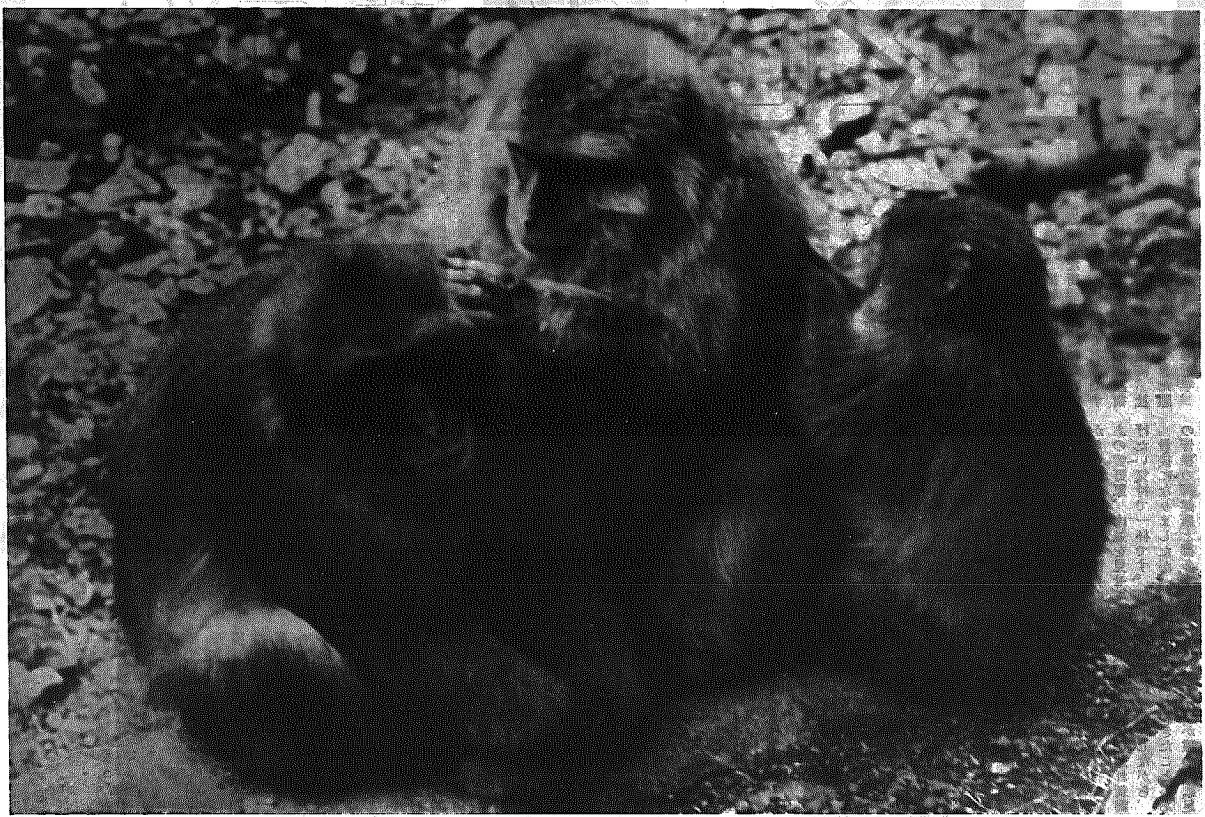


— おもな内容 —

- 1. 年頭のご挨拶 (1 P)
- 2. 今年は申どし私達の年 (2 P)
- 3. 村内駅伝マラソン (4 P)
- 4. 村政懇談会開催 (4 P)
- 5. おらが地域の運動会 (4 P)



長野県山ノ内地域谷で撮影



年頭のご挨拶

横越村長 洪 谷 泉

村民の皆様、明けましておめでとうございませう。年頭に当り一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は皆様方から一方ならぬご支援とご協力を蒙り、中学校特別教室、横越橋歩道橋並びに藤野地区上下道の完成等々を見、更には水田再編事業の転作についても格段のご協力を賜わり、村政に對するご支援に心から厚く御礼申し上げます。

さて、近時エネルギー対策という世界的な隆間を抱えながら、國も地方も危殆の財政状態から脱皮できず地方の時代といわれる八十年代の幕明けに當る本年も、村政面での運営については充分心して當らなければならぬと思えます。



年頭に当り

村政会会長 浅 見 良 一

一九八〇年の輝かしい新春を迎え、昨年は國情も去ることながら諸事多難の内にあわたくしは、ここに希望にあふれた新年を迎えたいと心からお喜び申し上げます。

政府、経済をよき世情を必ずしも柔順出来ない状態がありますが、村政にたずさわる一人として心きびしを受け止めて、わが横越村の発展と村民福祉の向上のために、山積する諸事業の遂行のため職をあげて全力を傾けてまいり所存であります。

そのために、村財政で執行できる面と、住民からご協力を蒙り分野として、これが対応をお願い致しながら、村民の要請により多く応えられるよう、本年の施策これに伴う予算の編成に取り組みたいと考えております。

今年考えている重点施策は通学路の防犯灯の設置、勤労者に対する住宅対策、双葉保育園の増設、生活環境面では流域下水道の着工、農村モデル事業の推進、特に改善センターの導入、小阿賀橋の工事促進、特許事業による排水路の改良事業等々、又、本年については、議会はもとより諸機関住民代表の方からも充分なるご審議を蒙り、数年後の実現を目標にスタートの年にしたと思っております。

一方、本年も米作農家の期待に反し、減反政策が強化されることとなり、これらの諸施策の実現は村議会はじめ関係諸機関及び村民各位の絶大なご協力がなければ、早期達成は困難であり、掲げた皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に村民各位のご健勝を祈念し年頭のご挨拶と致します。

村には尚、重要な諸問題が山積しております。役場庁舎の増設、小中学校の増築、保育所の改築、幼稚園の設置、老人会館、商工会館その他、多くの住民要望がなされております。その解決を図ることは重要で、村政を担う者として、これに責任をもち、当するわれわれに課せられた責務であり、國及び県の施策と相まって、村財政の許す限り、節度を重んじながら、活発な政策をめぐらし、皆さんと共に全力を尽くしたいと思います。

何卒、変わらぬご支援とご協力ををお願い申し上げます。村民各位のご多幸とご繁栄を祈念し、ご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお返しに良いお年をお迎えにいられた事とご挨拶申し上げます。昨年は何かにつけ「八〇年代」と云われて来ましたが八〇年代が「八〇年代」が「一五」が「一九七九」が「一九八〇」と云う位のもので一年をとうたかからと急にふたつわけでもないと思ふ人も多い事と思ひます。しかし、世界の情勢は石油問題をはじめとして目まぐるしく移り変わりその影響が直接日本へ、そして農村へと押し寄せて来るようなるにかならない、と諦め唯見守っておいて良いものでしょうか。人それなりに生きる権利があり、親は子供を育て、児童は教育を受ける等多くの権利と義務があるそれらをまっとうしてこそ世の中がうまくゆくことは分つておるのだが昨年は振り返ってみると、権利のみを主張し義務をまっとうしない、新聞やテレビを賑わし、そして云う言葉は「世の中が悪いからだ」と云う。今年こそマネリ化して、ある生活の甘えより脱皮して、せめて自分の家庭と地域を明るく住みやすくする為に権利と義務を履行し「八〇年代」の幕明けにあふさわしい努力目標を立て、あきらめず、一歩一歩進めなければなりません。始め良ければ「始めよし」と申します。今年はお互い目標をたて、暗い雲を照らすものにしようとお互いに「さあ、これからは、研究努力」を怠りません。

(山崎)